

ファイリングキャビネットを捨てる場合は？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



新人さん：事務所のファイリングキャビネットを捨ててしまうって本当ですか？

先輩：そうだよ。キャビネットを廃棄して、ワークスペースにするらしいよ。

新人さん：そうなのですか。まだきれいなのに、本当はもっと長く使う予定だったのですね。

先輩：うん。当初は耐用年数くらいまで使って買い替えるつもりだったのじゃないかな？ でも、ペーパーレスも定着してきたからね。

新人さん：確かに紙で保管しておかなければならないものも減っていますものね。

●解説

「固定資産除却損」とは、保有する固定資産を取り壊したり、処分したりした際の損失額を処理する勘定科目

です。固定資産を廃棄処分することを^{じょきやく}除却といいます。

除却の処理は、固定資産の帳簿価額をゼロにして、借方に「固定資産除却損」を計上します。固定資産を除却する際、取り壊し費用等の廃棄費用が発生した場合は「固定資産除却損」に含めて処理します。他方、除却の際に鉄くず代等として業者から代金を受け取った場合は「固定資産除却損」から控除して処理します。

税法上、「固定資産除却損」を計上するには、固定資産の物理的な廃棄等を必要とします。ただし、固定資産の廃棄等をしていなくても、使用を廃止し、今後通常の方法により事業の用に供する可能性がないと認められる場合等は、帳簿価額から処分見込額を控除した金額を「固定資産除却損」として損金の額に算入することができます。これを有姿除却^{ゆうしじょきやく}といいます。有姿除却した際の処分見込額は「貯蔵品」として処理します。 ●

ケース 1

廃棄処分した際に引き取り費用が発生した場合

期首に取得価額500,000円（減価償却累計額300,000円）のファイリングキャビネットを廃棄処分した。その際、引き取り費用として11,000円（税込）を普通預金口座から支払った。

【借方】	固定資産除却損	210,000	【貸方】	備品	500,000
	減価償却累計額	300,000		普通預金	11,000
	仮払消費税等	1,000			

ケース 2

有姿除却した場合

期首に取得価額500,000円（減価償却累計額300,000円）のファイリングキャビネットにつき、今後事業で使用する可能性がないため、有姿除却した。なお、処分見込額は10,000円であった。

【借方】	固定資産除却損	190,000	【貸方】	備品	500,000
	減価償却累計額	300,000			
	貯蔵品	10,000			